

初コラボ！相陽中学校「SO-YOかぜルーム」で 女子美術大学が出前授業を実施します！

相模原市立相陽中学校の校内教育支援センター※¹「SO-YOかぜルーム」※²が、女子美術大学と連携し、大学生と信頼関係を築きながら、自由な木材アートに挑戦します。大学の専門性を活かして子どもたちの未来を広げる新たな取組です。

1 日時

第1回：令和8年7月14日（火）

午前10時50分～午前11時40分

第2回：令和8年9月15日（火）

午前10時50分～午前11時40分



アートカードを活用した活動の様子

2 会場

相模原市立相陽中学校 校内教育支援センター「SO-YOかぜルーム」

（相模原市南区磯部1540）

3 内容

【第1回】	○アートカードによる対話とコミュニケーションの基盤づくり いきなり何かを描いたり作ったりするのではなく、まずは対話を通じて信頼関係を築き、「アートに触れる一歩目」をつくります。
【第2回】	○信頼を土台にした「ものづくり」へ 1回目で築いた信頼関係を土台に、2回目の授業では複数の木材と塗料が入ったキットを使用し、塗料を使って小さな木材を自分の目に留まった色で彩色します。 塗料キットは「CHIKIRI PROJECT」※ ³ より提供。

4 その他

取材を希望する場合は、7月13日（月）正午までに、お問い合わせください。

※¹ 校内教育支援センター：登校はできるが自分のクラスには入れない等の状況の児童生徒が、個々のペースに合わせて相談・学習のサポートを受けることができる学校内の空き教室等を活用した部屋のこと。

※² 「SO-YOかぜルーム」（そよかぜルーム）：相陽中学校の校内教育支援センター。「人は人との繋がりの中かで育つ」という理念のもと、個別による学習指導だけでなく、職場体験や外部演奏家を招くなど、生徒の社会的自立に向けた取組を行っている。

※³ 「CHIKIRI PROJECT」（ちきりプロジェクト）：大道具製作会社「金井大道具」の140年の歴史を背景に、日本の重要無形文化財である伝統芸能を支えてきた舞台背景画の技術を、現代空間のために再解釈するアートプロジェクト。

～舞台の空気をかたち作る卓越した職人技を劇場の外へと連れ出し、日常空間に息づくアートへ～ <https://chikiri-project.com/>



【問い合わせ先】

教育相談課 不登校支援企画班
丸岡・菅原
042-769-6144(直通)